

古墳の墳丘部分を調査しました！（木の本古墳群第9号墳^{き もとこふんぐんだい ごうふんはんいかくにんちょうさ}範囲確認調査）

令和3年9月13日（月）～11月5日（金）までの約2か月間、木の本古墳群第9号墳の範囲確認調査を行いました。



調査区全景



葺石検出状況

木の本古墳群第9号墳は、深谷市東方地内に所在する古墳跡です。今回は、その規模や内容、隣接する遺跡である東方城跡との関係性を明らかにするため調査を行いました。

調査の結果、古墳の周溝と考えられる溝跡や葺石（ふきいし）※と考えられる礫群が検出されました。

また、墳頂部からは、墳丘の盛土の痕跡が確認されました。この墳丘の盛土は、黒色土と黄色土主体の土の2種類の土を交互に積み上げて構築されていました。

さらに、古墳の西側からは東方城の土塁と堀跡の痕跡が確認されました。この堀跡からは近世の土器群が出土しました。

※葺石・・・・・・墳丘の斜面に敷かれた石。一般的に丸い河原石を使用することが多く、墳丘の崩落を防ぐ目的や装飾的な意味があったとされています。



墳丘盛土の堆積状況



土塁跡と堀跡